

1590 | 教師論

2 単位 (通信授業 2 単位)

高橋陽一教授、桑田直子講師

授業の概要と目標

本授業科目は、教育職員免許法施行規則に定める「教職の意義に関する科目」であり、「教職の意義及び教員の役割」、「教員の職務内容（研修、サービス及び身分保障等を含む）」及び「進路選択に資する各種機会の提供等」を内容としている。具体的には教員の役割や歴史、そして特に美術、工芸、情報の教員の職務とその意義について理解を深めることが期待される。

課題の概要

○通信授業課題 1

「教員生活や教員社会の特徴について、経験豊かな教員あるいは恩師の教員からヒアリングを行い、それをもとに自分なりの理想的教員像を論じなさい。」

教科書を参考に論述すること。

○通信授業課題 2

「子どもの個性を引き出し、伸ばすということについて、美術・工芸・情報科の教員の役割を論じなさい。」

教科書を参考に論述すること。

*課題については学習指導書を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

『教師論』を読みながら学習を進め、通信授業課題に取り組むこと。

第1部 教員の役割と歴史

第1章 現代の教員養成のあり方と武蔵野美術大学

第2章 近代日本における教員養成の展開

第3章 欧米における教員養成の歩み

第4章 教員のサービス

第5章 教員の資格と任用

第2部 美術の教師

第1章 小学校の図工専科教諭

第2章 中学校の美術教諭

第3章 高等学校の美術教諭

第4章 コース制高等学校の美術教諭

第5章 中等教育学校の美術教諭

第6章 養護学校の美術教諭

第7章 こどもの城の指導員

成績評価の方法

○科目試験

教科書全体の範囲より出題する。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 2～4年次

[履修条件] 教職課程に登録していること。

[備考] 2年次の履修が望ましい。

教材等

教科書：高橋陽一編『新しい教師論』（武蔵野美術大学出版社 2014年）

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 平成30年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2018年）

1600

教育原理 I

2 単位 (通信授業 2 単位)

高橋陽一教授、田中千賀子講師

授業の概要と目標

本授業科目は、教育の理念、教育の歴史、教育の思想など広くについて、学ぶものである。ここで学んだ教育の理念・歴史・思想が、これからの教育実践や教育の社会的意義を深く考えていくための前提となる。教育をめぐる、子どもと大人、学校と家庭と社会、教育学の諸概念を理解して、さらに、古代から近代にいたる教育の歴史と思想を実践の前提となる教養として獲得することが目標である。

課題の概要

○通信授業課題 1

「子どもにとっての教育」と題して、教科書を理解して、関心のある子どもに関するテーマを論じる課題。

○通信授業課題 2

「歴史からみえる教育の機能と理念」と題して、教科書を理解して、教育の歴史を考える課題。

* 課題については学習指導書を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

教科書の第 1 部 (第 1 章～第 15 章) を読みながら学習を進め、通信授業課題に取り組むこと。必要に応じて第 2 部も参照すること。

成績評価の方法

◎科目試験

教科書第 1 部 (第 1 章～第 15 章) の範囲より出題する。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 2～4 年次

[履修条件] 教職課程に登録していること。

または学芸員課程 (旧課程) に登録していること。

[備 考] 教職課程履修者は、2 年次の履修が望ましい。

学芸員課程 (旧課程) 履修者は、3 年次の履修が望ましい。

教材等

教科書：高橋陽一『新しい教育通義』(武蔵野美術大学出版局 2018 年)

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 平成 30 年度』

(武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2018 年)

その他

通信授業課題については『学習指導書』の説明を十分に理解して取りくむこと。

1610 | 教育原理 II

2 単位 (通信授業 2 単位)

高橋陽一教授、田中千賀子講師

授業の概要と目標

本授業科目は、教育をめぐる社会の在り方や学校教育制度などについて、学ぶものである。「教育原理 I」で学んだ教育の理念や歴史などを踏まえて、教育が現在社会でいかに機能し、どのような問題を持ち、どのように改革されるべきかを考える。教育職員免許法施行規則の定めるとおり教育に関する社会的、制度的、経営的事項を学び、さらに学校と地域の連携や学校安全という課題も併せて理解するための授業である。とりわけ、現代の日本の学校教育制度と教育行政の在り方など、私たちの教育の在り方を展望するための視野を確立することを目的としたい。

課題の概要

○通信授業課題 1

教育基本法における教育の理念について要約と考察をおこなう課題。教科書を熟読し、現行の教育基本法の全体的な方針、法令上の位置づけについて概要をまとめ、関心のある条文を一つ選んで要約すること。

○通信授業課題 2

義務教育の制度について要約と考察をおこなう課題。教科書を熟読し、義務教育の根拠となる教育制度について概要をまとめ、小学校や中学校などの機能や役割について要約すること。

* 課題については学習指導書を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

教科書の第 2 部を読みながら学習を進め、通信授業課題に取り組むこと。

成績評価の方法

◎科目試験

教科書第 2 部各章の範囲より出題する。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 3～4 年次

[履修条件] 教職課程に登録していること。

「教育原理 I」の単位を修得しているか、同時に履修登録すること。

[備 考] なし

教材等

教科書：高橋陽一『新しい教育通義』（武蔵野美術大学出版局 2018 年）

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 平成 30 年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2018 年）

1620

教育心理学

2 単位（通信授業 2 単位）

桂瑠以講師

授業の概要と目標

教育心理学の知見に基づく教授法ならびに学習指導の原理や仕組みに関する基礎的事項の理解、把握を目標とする。なかでも特に、近年の学校教育で重視されている学習者主体の指導・教授について、自主性や主体性を育てる指導・教授に必要な条件、それらが損なわれる際に引き起こされる問題などの観点から考察する。教科書では、1. 様々な学習の仕組みや原理、2. 「やる気」と呼ばれる心理状態、3. 教授方法・学習指導の形態、4. 教育評価を中心に、教師による教授と生徒の学習に関する概観を把握する。

課題の概要

○通信授業課題 1

自己や他者の経験をふまえ、実際の学習活動において「やる気」が高められた事例、逆に「やる気」が低下させられた事例を分析研究する課題。

○通信授業課題 2

教科書をふまえて、教育心理学的知見から、学習動機を高め、持続させる教授・学習指導法を考察する課題。

* 課題については学習指導書を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

教科書の第 3 章、第 4 章、第 6 章、第 7 章を使用する。

第 3 章 ほめることの大切さ

古典的条件づけによる学習／道具的条件づけによる学習／観察による学習／自己強化による学習

第 4 章 「やる気」を考える

期待－価値モデル／統制感／原因の考え方／内発的動機づけ

第 6 章 どのように教えるか

学習指導の形態／発見学習／受容学習／グループ学習と個別学習の具体例／適性処遇交互作用

第 7 章 児童・生徒をどう評価するか

教育の成果を評価する／評価のための情報を得る方法

成績評価の方法

◎科目試験

教科書の該当部分より論述形式の問題を出題する。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 2～4年次

[履修条件] 教職課程に登録していること。

[備考] 2年次の履修が望ましい。

教材等

教科書：鎌原雅彦・竹網誠一郎『やさしい教育心理学』（有斐閣 1999年）

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 平成30年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2018年）